

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 63-003369

(43)Date of publication of application : 08.01.1988

(51)Int.Cl.

G06F 15/30

G07D 9/00

G07F 7/10

(21)Application number : 61-144826

(71)Applicant : HITACHI LTD

(22)Date of filing : 23.06.1986

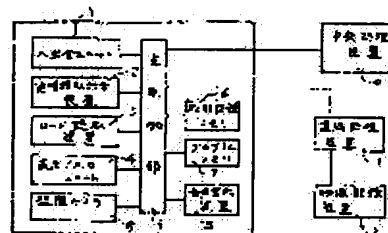
(72)Inventor : TSUCHIKAWA YUJI

## (54) EMERGENCY CONTACT SYSTEM

## (57)Abstract:

**PURPOSE:** To make a contact with outside and also to photograph the criminal in case a user of an automatic teller ATM machine is compelled to have a transaction by a threat, etc., by producing the emergency password value from the identification password value.

**CONSTITUTION:** An arithmetic means which produces the emergency password value from the normal identification password value is previously informed to a card user. While an arithmetic executing program is stored in a program memory 7 set in an ATM. When a user puts his/her card into the ATM, the arithmetic executing program is taken out of the memory 7. Then the emergency password value, i.e., the arithmetic result is compared with the input password of the user through a primary control part 9. If the coincidence is obtained between both password values, the occurrence of an abnormal state is decided. Thus a signal is sent to a remote supervisory and control equipment 11 and an alarm is actuated to make a contact with outside. At the same time, a monitor camera 8 is actuated to photograph a criminal, etc.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]



⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-3369

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>G 06 F 15/30  
G 07 D 9/00  
G 07 F 7/10

識別記号

3 4 0  
4 6 1

庁内整理番号

7208-5B  
8109-3E  
7912-3E

⑭ 公開 昭和63年(1988)1月8日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 緊急連絡方式

⑯ 特 願 昭61-144826

⑰ 出 願 昭61(1986)6月23日

⑱ 発 明 者 土 川 祐 司 愛知県尾張旭市晴丘町池上1番地 株式会社日立製作所旭工場内

⑲ 出 願 人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

⑳ 代 理 人 弁理士 小川 勝男 外1名

## 明 細 書

## 1 発明の名称

緊急連絡方式

## 2 特許請求の範囲

- 1 媒体読み取り機構、パスワード入力部、演算部、処理実行部よりなる自動機に於いて、媒体に書き込まれた暗証パスワード値に予め利用者に連絡済の演算手順を実行して得られるパスワード値を緊急用のパスワード値とし、緊急パスワードが入力された場合、利用者以外の人に気づかれることなく外部に異常を知らせると共に自動機と連絡されてある映像記録装置によって撮影を行なうことを特徴とする緊急連絡方式。

## 3 発明の詳細な説明

## 〔産業上の利用分野〕

本発明は、現金自動取扱い装置等パスワードを入力することによって、取り扱い処理を行なう自動機全般に係わり、特に利用者以外の人間に知られず、自動機を通じて外部連絡すると共に、撮影装置を作動させる緊急連絡方式に関する。

## 〔従来の技術〕

従来の読み書き機能を有する媒体の自動機利用に関しては、特開昭59-9747号のように、暗証パスワード以外の入力があった場合は、処理を行なわないようにして不正入力の防止を計っている。しかし、利用者が恐喝・威嚇等で取引を強要された場合等、パスワード入力を利用者本人の意志によるものか、強要による取引かを区別できなかった。

## 〔発明が解決しようとする問題点〕

上記従来技術は、利用者本人が恐喝・威嚇などによって取引を強要された場合の救済方法がなく、取引が利用者本人の意志によるものか否かの判断ができない問題があった。

本発明の目的は、恐喝・威嚇等によって、自動機の取引を強要された場合、恐喝者に知られることなく、異常事態であることを自動機を通じて外部連絡できると共に、自動機と接続してある映像記録装置を作動させ、犯人の撮影を可能にすることにある。

## 〔問題点を解決するための手段〕

通常使用する暗証パスワードにある種の演算(例えば加減算等)を実行し、演算結果を緊急パスワード値とし、利用者には演算手段を予め連絡しておく。

自動機にも、緊急用パスワードを得る為の演算を実行する演算部及びプログラムを用意しておく。映像記録装置を自動機の制御部を介して接続しておき、上記緊急パスワード値が入力された場合、外部連絡すると共に撮影を開始する。

## 〔実施例〕

以下本発明の一実施例を第1～2図で説明する。

第1図は、自動機の構成概要で入出金ユニット1、通帳読取印字装置2、カード読取装置3、表示/入力ユニット4、音声案内装置5、取引記録メモリ6、プログラムメモリ7、監視カメラ8、及びこれらを制御する主制御部9よりなり、主制御部9は回線を介して中央処理装置10に接続されオンライン自動取引の一端末として位置づけられている。主制御部9は、自動機の状態を監視する

ワード値に緊急パスワード値を得る為の演算を実行するように、プログラムメモリ7から該当プログラムを取り出す。演算実施後、演算結果である緊急パスワード値と利用者の入力パスワード値の比較を主制御部9により行なう。不一致の場合は利用者のパスワード再入力を促す。

一致した場合、主制御部9を通じて自動機外の遠隔監視装置11に信号を送り、内蔵のアラームランプを点滅させ、警報を鳴らすと共に監視カメラ8に作動開始の信号を送り、自動機前面の垂直操作盤13の面上の撮影孔15から撮影し、映像記録装置12に記録される。

## 〔発明の効果〕

本発明によれば、自動機利用者が威嚇・恐喝されて取引を強要された場合、恐喝者に対し気づかれることなく、外部連絡を行なうと共に、自動機と接続してある監視カメラで犯行現場を撮影することで、犯行後の犯人わりだしに効果がある。

又、本発明の波及効果としては、本方式が実施してあることがわかれば、恐喝等の取り引き強要

遠隔監視装置11と接続され、これを介して映像記録装置12で監視カメラ8の映像の記録が可能になっている。

カード利用者には、通常の暗証パスワード値から緊急パスワード値を得る演算手段を予め、例えばカード発行時に連絡しておく。演算の一例として通常の暗証パスワードが、4桁の負でない整数から構成されている場合、各桁の数字を上位からa, b, c, dとし、末桁の数字に正の整数eを加える演算等が考えられる。(但し、末桁の演算結果が2桁になった場合には、1桁目の数を緊急パスワード値の末桁とする。)

又、自動機内のプログラムメモリ7に、上記演算を実行するプログラムを入れておく。

利用者が、自動機にカードを挿入後、カード読取装置3によって読み出した暗証パスワード値を取引記録メモリ6に入れ、利用者のパスワード入力の後、取り出し、主制御部9により比較し一致したら、自動機は通常処理を実行する。

不一致の場合は、媒体から読み出した暗証パ

スワード値に緊急パスワード値を得る為の演算を実行するように、プログラムメモリ7から該当プログラムを取り出す。演算実施後、演算結果である緊急パスワード値と利用者の入力パスワード値の比較を主制御部9により行なう。不一致の場合は利用者のパスワード再入力を促す。

## 4 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例の自動機(自動入出金装置)の概略構成を示すブロック図、第2図は自動機(自動入出金装置)の斜視図である。

- 1…入出金ユニット、2…通帳読取印字装置、
- 3…カード読取装置、4…表示/入力ユニット、
- 5…音声案内装置、6…取引記録メモリ、
- 7…プログラムメモリ、
- 8…監視カメラ、9…主制御部、
- 10…中央処理装置、11…遠隔監視装置、
- 12…映像記録装置、13…垂直操作盤、
- 14…撮影孔。

代理人弁理士 小川勝男

